



復興庁

Reconstruction Agency

第56号

平成29年9月29日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

8/30(水)・9/13(水)

～ 吉野復興大臣 南三陸町・気仙沼市を視察！ ～

8月30日と9月13日に、吉野復興大臣が南三陸町と気仙沼市を視察しました。

8月30日の視察では、南三陸ホテル観洋で女将と「語り部バス」の取組などについて懇談。また気仙沼冷凍水産加工業協同組合を訪問し、市内の各団体から水産業・水産加工業界の課題について意見を交わしました。



南三陸ホテル観洋の女将と懇談



市内水産加工団体から要望書を手交

9月13日の視察では、気仙沼大島を復興大臣として初めて視察。フェリーで大島に渡り、今後整備されるウエルカムターミナルの予定地を視察。観光ガイドの方からは震災当時のトモダチ作戦の様子や、その後の大島の復興についてお話を伺いました。その後、亀山山頂の展望台から、被災したリフトの跡地などを視察しました。

視察後大臣は「市と一緒に知恵を出し、互いに納得できる手法を検討したい」と述べられました。支所としても引き続き復興の加速化に取り組んで参ります。



フェリーから見た気仙沼大島大橋



亀山山頂展望台にて市内を一望



市長から説明を受ける大臣



民宿にてお話を伺った

～ 進む震災復興【中島海岸防潮堤・津谷川河川堤防】 ～

東日本大震災では気仙沼市小泉地区に20mを超える大津波が襲来し、堤防が約1,050mにわたって全て流出。離岸堤5基が全壊。洗掘等により水際線が約200m後退しました。

宮城県では、概ね数十年から百数十年周期で発生する津波に対応するべく最大TP14.7mの防潮堤と、それに併せた河川堤防を構築しております。高さは県内で最大となります。

そのため、防潮堤表面のコンクリートを緑化し、周囲との調和を図ることで景観上の配慮も行います。

また浸食防止と砂浜の回復を図るため、離岸堤を沖合に構築し、海水浴場としての再生も目指しております。



事業を行うにあたり、平成25年11月に住民合意を得た後も、適宜検討会等を開催し「湿地の整備・再生」「景観への配慮」「保安林の再生」等、計画への意見反映を実施しております。

具体例として、有識者の指導の下、植物やカニ等の底生生物の移植を実施し、月1回の経過観測等を実施しております。

工事は平成27年3月に着手。早期完成を目指しており、進捗率は7月末時点で約50%です。



中島海岸防潮堤



津谷川河川堤防

気仙沼本吉サーフィングクラブよりビーチ清掃のご協力を頂いております。

また、工事現場近傍にインフォメーションセンターも整備されております。

模型やパース等で分かり易く情報公開され、どなたでも見学できるようになっておりますのでお気軽にご覧ください。

～ 応援職員日より【防潮堤整備のリレー】 ～

当地南三陸町に於いては、明治以来だけでも4回にわたり地震津波被害を被った場所です。周期的に繰返して襲ってくる災害による被害を抑えるために設けられた防潮堤も今回の3.11津波には太刀打ちできず、多くの尊い犠牲を強いられました。

最新の知恵と技術で新たに計画されたL-1対応（数十年～百数十年に1回起り得る地震・津波を想定）の防潮堤は当町の沿岸に於いては高さが海拔7.3m～9.8mに及ぶとても大きなものとなりました。

町内には南三陸町所管の19の漁港があり、それぞれに防潮堤の計画があります。この防潮堤の実務は漁港係の9名が担っています。震災直後よりこの防潮堤事業は主に私同様の、任期の付いた先輩方が、リレーのように業務を引継ぎながら進めてこられました。関係官庁・地元の方々との協議・調整を経てこの事業も発注・着工のラッシュという新しいステージを迎えようとしています。



応援職員の大澤敏広さん（写真中央。南三陸町寺浜漁港防潮堤工事現場をバックに漁港係の同僚、請負業者の方と共に）。南三陸町建設課漁港係勤務、愛媛県出身。平成28年9月から復興庁の復興支援専門員として防潮堤整備に従事し1年が経過しました。

9/3^日

～ 南三陸町役場 新庁舎 開所！ ～

9月3日、高台へと移転した南三陸町新庁舎（志津川本庁舎）が完成、開庁式が開催されました。3階建て部分と平屋部分からなり、1階には町民利用の多い窓口機能のほか、多目的に利用できるスペース「マチドマ」を整備。同町産のFSC認証木材を施設全体の9割に使用し、全国初の公共施設におけるFSC全体プロジェクト認証を取得しています。

9/17^日

～ 入谷地区にピオトープ「花見山ランド」誕生！ ～



9月17日、南三陸町入谷地区の休耕地を利用したピオトープ「花見山ランド」が完成しました。この日は250年の歴史ある秋祭り「入谷打囃子」も催され、ピオトープの周りを行列が練り歩きました。地域の伝統行事や豊かな自然を身近に感じられる、貴重な「外の遊び場」です。池の小島を渡る手作りの丸太橋はスリル満点。常設テントで催し物も対応可能です。

8/23^水

～ いきいき健康教室（味の素ふれあいの赤いエプロンプロジェクト）！ ～

8月23日、市営表松川住宅（全72戸）内の切通コミュニティセンターを会場に、気仙沼市健康増進課主催の「いきいき健康教室」のなかで、味の素グループ東北復興応援「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」のサポートによる料理教室が開催されました。

住民や地域支援員11人が参加し、旬の野菜を食べて暑い夏を乗りきろう！！をテーマに夏野菜をつかった3種のメニュー（鶏だし冷や汁、厚揚げとナスの辛味噌炒め、ミニトマトとオクラのもずく酢あえ）が彩りよく完成。参加者全員で記念撮影をしたあとおいしくいただきました。

家庭でも手軽にできるメニューで、参加者からは、さっそくうちでもつくってみようという声がかけられました。

味の素グループの活動は、被災3県で東日本大震災後の2011年10月に開始、復興の道筋が明らかになるまで継続する予定です。



復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【10月7日（土）】気仙沼サンマフェスティバル【気仙沼市】

今年のサンマの水揚げは芳しくないですが、開催予定です。サンマをほおぼりながらロックを楽しむ1日をどうぞ。今年は会場が旧向洋高校裏に変更されています。BRT陸前階上駅から送迎バスが出ますので、なるべく公共交通機関でお越し下さい。

【10月8日（日）】ひころマルシェ【南三陸町】

入谷ひころの里で春と秋の年2回開催されている、広々とした芝生が会場のオーガニック志向のマルシェです。有機農業の野菜、手作りパン、草木染、ライブステージetc. 小さいお子さん連れに配慮しています。エコバック持参で♪

◆支所長コラム

暑くなかった夏も終わり、寂しさを感じたセプテンバ〜■「サンオーレそではま」は天候不順で入り込み数が伸び悩み■「気仙沼さんま祭り」は不漁のあおりで中止になり■台風18号、メキシコ地震・・・■考えると憂鬱になりますが、9月の良かったことをポジティブに振り返って考えてみると■ありました、サッカーW杯出場決定（実際は8/31）！！&南三陸町新庁舎開庁（9/3）！！■これから本格的な秋を迎え、秋の味覚、読書、スポーツ&仕事にポジティブに関わっていきたいと思います■（追伸）9月1日に復興庁非常勤職員として気仙沼市に2名の方が配置されました■東京、兵庫といった遠方から、慣れない土地でのお仕事となりますがご体に気を付けて頑張ってください（吉）

【編集後記】

◆手焼きのふりかけや、松前漬けのような海鮮の冷凍パックを買い込み、ご飯にかけて食べるのが最近の幸せです。

気仙沼支所の

今月のベストショット

Best★Shot

亀山山頂の展望台からは360度景色を楽しむことができるよ！
浦の浜港から亀山レストハウスまで車で約5分。
そこから亀山山頂展望台まで徒歩約5分だよ。



気仙沼大島 亀山からの眺め



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>